学生確保の見通し等を記載した書類【資料編】

資料１ ..... P.2
大学院人間文化創成科学研究科 博士前期課程
生活工学共同専攻 入学試験実施状況

資料２ ..... P.3
大学院人間文化創成科学研究科 博士前期課程
生活工学共同専攻 出身別入学者

資料３ ..... P.4
学生アンケートでの入学意向調査結果

資料４ ..... P.6
大学院人間文化創成科学研究科　博士前期課程
生活工学共同専攻 修了者の就職実績

資料５ ..... P.7
企業アンケートでの採用意向調査結果

資料ａ P.9
お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科 博士前期課程
「共創工学専攻（仮称）」
設置構想についての入学意向アンケート調査　報告書

資料ｂ P.42
お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科 博士前期課程
「共創工学専攻（仮称）」
設置構想についての人材需要アンケート調査　報告書

資料1：大学院人間文化創成科学研究科 博士前期課程　生活工学共同専攻 入学試験実施状況

（単位：名）

年度	定員	一般入試				社会人特別入試				一貫教育特別選抜				**合計**			
		4月入学 <10月入学>				4月入学				4月入学							
		志願者	合格者	入学者		志願者	合格者	入学者		志願者	合格者	入学者		志願者	合格者	入学者	志願倍率 **（倍）**
				一般	留学生			一般	留学生			一般	留学生				
2024年度	7	14	12	9	2	0	0	0	0	9	8	7	0	23	20	18	3.29
2023年度	7	11	6	4	2	0	0	0	0	8	7	6	0	19	13	12	2.71
2022年度	7	16 <1>	10 <0>	5	1	2	1	1	0	1	1	1	0	19	12	8	2.71
2021年度	7	12	10	9	0	0	0	0	0	5	5	5	0	17	15	14	2.43
2020年度	7	19 <1>	11 <0>	9	0	0	0	0	0	5	5	4	0	24	16	13	3.43
5か年平均		**14.4**	**9.8**	**7.2**	**1**	**0.4**	**0.2**	**0.2**	**0**	**5.6**	**5.2**	**4.6**	**0**	**20.4**	**15.2**	**13**	**2.91**

（注）＜＞数字は、10月入学希望者で内数

資料2：大学院人間文化創成科学研究科 博士前期課程

生活工学共同専攻 出身別入学者

（単位：名）

年度	本学の出身者			他大学の出身者					計
	一般（ストレート進学者）	一貫（ストレート進学者）	**計**	国立	公立	私立	外国	**計**	
2024年度	8	7	**15**	1	0	0	2	**3**	18
2023年度	4	6	**10**	0	0	0	2	**2**	12
2022年度	4	1	**5**	0	1	1	1	**3**	8
2021年度	4	5	**9**	1	0	4	0	**5**	14
2020年度	6	4	**10**	2	1	0	0	**3**	13
5か年平均	5.2	4.6	**9.8**	0.8	0.4	1.0	1.0	**3.2**	13.0

資料3：学生アンケートでの入学意向調査結果

【調査概要】

調査時期：2024年11月～12月

調査対象：本学全学部１年生・2年生・3年生

調査方法：全対象者へメールにて依頼しWEBにて回答（調査依頼先：高等教育総合研究所）

【アンケート調査実施状況】

学部学科	対象者数（名）			**回答者数（名）**			回収率		
	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年
共創工学部人間環境工学科	31			26			83.9%		
共創工学部文化情報工学科	22			22			100%		
生活科学部人間・環境科学科		26	28		12	23		46.2%	82.1%
文教育学部	209	218	231	68	65	62	32.5%	29.8%	26.8%
理学部	130	141	133	36	35	45	27.7%	24.8%	33.8%
生活科学部（人間・環境学科以外）	107	114	117	33	32	43	30.8%	28.1%	36.8%
計	499	499	509	**185**	**144**	**173**	37.1%	28.9%	34.0%

【大学院への進学意向・進学時期】

設問　あなたは大学院博士前期課程への進学を検討していますか。（あてはまるもの１つにマーク）

（単位：名）

	1年	2年	3年	合計
卒業後すぐに進学したい	**78**	**37**	**59**	**174**
将来的に進学したい	23	14	14	51
進学は考えていない	84	93	100	277
計	185	144	173	502

【本専攻への受験意向】

上記の設問で、「卒業後すぐに進学したい」と回答した174名のうち、本専攻を受験したいと回答した人数

設問「共創工学専攻（仮称）」を受験したいと思いますか。（あてはまるもの１つにマーク）

（単位：名）

	1年	2年	3年	合計
第一志望として受験する	17	8	**17**	42
第二志望として受験する	15	6	**10**	31
第三志望として受験する	12	8	**4**	24
計	44	22	**31**	97
本専攻を受験しない	34	15	28	77
合計	**78**	**37**	**59**	**174**

【本専攻への受験意向の内訳】

（単位：名）

学部学科	第一志望として受験する			第二志望として受験する			第三志望以降として受験する			合計		
	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年
共創工学部 人間環境工学科	11			3			2			**16**	**27**	
共創工学部 文化情報工学科	5			5			1			**11**		
生活科学部 人間・環境科学科		6	**16**		2	2		0	0	0	8	18
文教育学部	0	0	0	1	0	0	1	2	1	2	2	1
理学部	1	2	1	5	4	8	8	4	3	14	10	12
生活科学部（人間・環境学科以外）	0	0	0	1	0	0	0	2	0	1	2	0
計	17	8	17	15	6	10	12	8	4	**44**	**22**	**31**
合計	**42**			**31**			**24**			**97**		

【本専攻を第一志望で受験し、かつ入学の意向】

設問「共創工学専攻（仮称）」を受験して合格した場合、入学を希望しますか。

（単位：名）

学部学科	**入学する**			他の志望校が不合格の場合に入学する		
	1年	2年	**3年**	1年	2年	3年
共創工学部 人間環境工学科	10			1		
共創工学部 文化情報工学科	5			0		
生活科学部 人間・環境科学科		6	**15**		0	1
文教育学部	0	0	**0**	0	0	0
理学部	1	2	**1**	0	0	0
生活科学部（人間・環境学科以外）	0	0	**0**	0	0	0
計	**16**	**8**	**16**	1	0	1

※入学しないと回答したデータは省略

資料4：大学院人間文化創成科学研究科　博士前期課程

生活工学共同専攻 修了者の就職実績

生活工学共同専攻

修了者　進路区分＜職種別＞

2020年度		2021年度		2022年度		2023年度	
修了者数	17名	修了者数	13名	修了者数	13名	修了者数	8名
進路区分＜職種＞	人数	進路区分＜職種＞	人数	進路区分＜職種＞	人数	進路区分＜職種＞	人数
技術職	5	技術職	1	技術職	1	技術職	1
SE	1	SE	1	SE	1		
総合職	2			総合職	3	総合職	4
		開発職	2	開発職	1	開発職	1
専門職	1			専門職	2		
研究職	1					研究職	1
				地方公務員（技術	1		
		デザイナー	2				
		東京都	1				
		その他	3	その他	2		
帰国：就職	3						
未内定	1						
その他	3	その他	3	その他	2	その他	1
就職希望者	**14名**	**就職希望者**	**10名**	**就職希望者**	**11名**	**就職希望者**	**7名**
就職者数	**13名**	**就職者数**	**10名**	**就職者数**	**11名**	**就職者数**	**7名**
就職率	**92.9%**	**就職率**	**100%**	**就職率**	**100%**	**就職率**	**100%**

※　集計は各年度の翌4月1日時点

資料5：企業アンケートでの採用意向調査結果

【調査概要】

調査時期：2024年11月～12月

調査対象：本専攻修了生の就職先として想定される全国の企業・機関 **531件**

調査方法：調査依頼書を送付しWEBおよび回答用紙にて回答（調査依頼先：高等教育総合研究所）

回収件数：**68件（回収率：12.8%）**

【回答企業・機関】

問2　業種

業種	回答件数	回答割合
建設業	2	2.9%
製造業	20	29.4%
通信業	1	1.5%
IT関連業	17	25.0%
放送、新聞、出版業	2	2.9%
金融業（銀行・信託・証券・貸金）	2	2.9%
学術研究、専門・技術サービス	1	1.5%
卸売業、小売業	4	5.9%
不動産業、物品賃貸業	3	4.4%
旅行業	1	1.5%
教育・学習支援業	5	7.4%
生活関連サービス業、娯楽業	1	1.5%
その他サービス業	4	5.9%
国家公務	1	1.5%
地方公務	2	2.9%
非営利団体	1	1.5%
その他	1	1.5%
計	68	100%

【人事採用への関与度】

問4　アンケートご回答者の人事採用への関与度をお教えください。（あてはまるもの１つ）

選択肢	回答件数	回答割合	
採用の決定権があり、選考にかかわっている	21	30.9%	94.1%
採用の決裁権はないが、選考にかかわっている	43	63.2%	
採用時に直接かかわらず、情報や意見を収集、提供する立場にある	4	5.9%	
計	68	100%	

【魅力的だと感じる特色】

問5　魅力的だと感じるものを選んでください。（あてはまるもの全て）

選択肢	回答件数	回答割合
「文化」や「社会」の知と「工学」の協働に取り組むこと	44	64.7%
共創能力（発想力・発見力・デザイン力・対話力）、専門力、実践力を涵養すること	52	76.5%
社会課題の解決や文化の創造を通じたイノベーションを目指していること	50	73.5%
修了後の社会において役立つ実践的な科目※を重視していること	37	54.4%

【養成する人材についての社会ニーズ】

問6　養成する人材についての社会ニーズについてお伺いします。（あてはまるもの１つ）

選択肢	回答件数	回答割合	
ニーズは極めて高い	23	33.8%	89.7%
ニーズはある程度高い	38	55.9%	
わからない	7	10.3%	
計	68	100%	

【本専攻の修了生に対する採用意向】

問7　本専攻が養成する人材について採用したいと思われますか。（あてはまるもの１つ）

選択肢	回答件数	回答割合
採用したい	46	67.6%
採用しない	1	1.5%
わからない	21	30.9%
計	68	100%

【現時点での採用可能人数】

問8　問７で「採用したい」とされた場合、現時点で採用可能と思われる人数は何人ですか。

選択肢	回答件数	採用可能人数
1人	6	6 名
2人	3	6 名
3人	2	6 名
4人	1	4 名
5人以上	2	10 名以上
人数は未確定だが、最低1人	31	31 名
無回答	1	0 名
計	**46**	**63 名以上**

資料a

お茶の水女子大学大学院

人間文化創成科学研究科 博士前期課程「共創工学専攻（仮称）」

設置構想についての入学意向アンケート調査

報告書

令和７年３月
株式会社高等教育総合研究所

目次

1.　入学意向アンケート調査 概要..... 2

2.　入学意向アンケート調査 集計結果..... 3

(1)　３年生対象アンケート..... 3

(2)　２年生・１年生対象アンケート..... 9

入学意向アンケート調査 Ｗｅｂサイト（３年生向け）..... 17

入学意向アンケート調査 Ｗｅｂサイト（２年生・１年生向け）..... 23

大学院人間文化創成科学研究科 博士前期課程「共創工学専攻（仮称）」リーフレット 29

1. 入学意向アンケート調査 概要

調査目的	令和8年（2026年）度にお茶の水女子大学大学院が設置構想中の人間文化創成科学研究科 博士前期課程「共創工学専攻（仮称）」における志願者・入学者等の学生確保の見込みを測定することを目的とする。
調査対象	お茶の水女子大学既設学部で学ぶ３年生・２年生・１年生 （３年生は単独、２年生・１年生は同一アンケートにて実施）
調査内容	■ 回答者の基本情報（所属学科） ■ 卒業後の志望進路 ■ 志望する大学院等の設置者 ■ 興味のある学問分野 ■ お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科 博士前期課程「共創工学専攻（仮称）」特色への興味・関心 ■ お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科 博士前期課程「共創工学専攻（仮称）」への受験・入学意向
調査時期	令和6年11月～12月
調査方法	WEBアンケートにて実施
回収件数	有効回答数：３年生173件、２年生・１年生329件

2. 入学意向アンケート調査 集計結果

※「回答割合」（%）はいずれも、小数点第二位を四捨五入しているため
合計は必ずしも100%とならない。

(1) ３年生対象アンケート

問1　あなたの所属をお答えください。（あてはまるもの１つにマーク）

選択肢	回答数	回答割合
【文教育学部】人文科学科 哲学・倫理学・美術史コース	2	1.2%
【文教育学部】人文科学科 比較歴史学コース	8	4.6%
【文教育学部】人文科学科 地理学コース	5	2.9%
【文教育学部】言語文化学科 日本語・日本文学コース	9	5.2%
【文教育学部】言語文化学科 中国語圏言語文化コース	5	2.9%
【文教育学部】言語文化学科 英語圏言語文化コース	3	1.7%
【文教育学部】言語文化学科 仏語圏言語文化コース	2	1.2%
【文教育学部】人間社会科学科 教育科学コース	5	2.9%
【文教育学部】人間社会科学科 社会学コース	7	4.0%
【文教育学部】人間社会科学科 子ども学コース	6	3.5%
【文教育学部】芸術・表現行動学科　舞踊教育学コース	4	2.3%
【文教育学部】芸術・表現行動学科　音楽表現コース	1	0.6%
【文教育学部】グローバル文化学環	5	2.9%
【理学部】数学科	4	2.3%
【理学部】物理学科	13	7.5%
【理学部】化学科	8	4.6%
【理学部】生物学科	8	4.6%
【理学部】情報科学科	12	6.9%
【生活科学部】食物栄養学科	11	6.4%
【生活科学部】人間・環境科学科	23	13.3%
【生活科学部】人間生活学科　生活社会科学講座	12	6.9%
【生活科学部】人間生活学科 生活文化学講座	8	4.6%
【生活科学部】心理学科	12	6.9%
合計	173	100.0%

問2　あなたは大学院博士前期課程への進学を検討していますか。（あてはまるもの１つにマーク）

選択肢	回答数	回答割合
卒業後すぐに進学したい	59	34.1%
将来的に進学したい	14	8.1%
進学は考えていない	100	57.8%
合計	173	100.0%

次の問3～5は問2で「卒業後すぐに進学したい」「将来的に進学したい」とした3年生計73人が回答対象である。
（回答割合＝回答数÷回答対象73人）

問3　志望する大学院の設置者の希望を選択してください。（あてはまるもの全てにマーク）
＊複数回答のため回答数はのべ／回答割合＝各回答数÷回答対象73人

選択肢	回答数	回答割合
国立	73	100.0%
公立	9	12.3%
私立	4	5.5%

問4　学びたいと考えている興味のある学問分野を次の中から選択してください。（あてはまるもの全てにマーク）

＊複数回答のため回答数はのべ／回答割合＝各回答数÷回答対象73人

選択肢	回答数	回答割合	選択肢	回答数	回答割合
環境工学	11	15.1%	言語学	2	2.7%
人間工学	8	11.0%	日本文化学	0	0.0%
機械工学	4	5.5%	史学	1	1.4%
電気・電子工学	1	1.4%	地理学	0	0.0%
データサイエンス	8	11.0%	哲学	1	1.4%
情報処理学	7	9.6%	心理学	10	13.7%
情報ネットワーク学	5	6.8%	行動科学	3	4.1%
コンピュータ・メディア工学	6	8.2%	人文情報学	0	0.0%
制御工学	1	1.4%	美学芸術学	3	4.1%
土木建築工学	3	4.1%	人文科学その他	1	1.4%
建築学	13	17.8%	社会科学（法学・政治学、経済学・経営学、社会学など）	7	9.6%
都市デザイン	6	8.2%	理学（数学、物理学、化学、生物、地学など）	18	24.7%
水処理	2	2.7%	農学（農芸化学、農業工学、農業経済学など）	3	4.1%
応用化学（高分子材料）	8	11.0%	保健（医学、歯学、薬学など）	2	2.7%
応用化学（生体材料工学）	9	12.3%	商船学	0	0.0%
繊維工学	1	1.4%	家政学（食物学、被服学、住居学など）	8	11.0%
医用工学	3	4.1%	教育学（小・中・高校課程、体育学など）	6	8.2%
工学その他	0	0.0%	芸術（美術、デザイン、音楽、舞踊など）	5	6.8%
文学	3	4.1%	その他（教養学、総合科学、国際学、人間科学など）	3	4.1%

問5　構想中の博士前期課程「共創工学専攻（仮称）」には、以下のような特色があります。魅力的だと感じるものを選んでください。（あてはまるもの全てにマーク）

＊複数回答のため回答数はのべ／回答割合＝各回答数÷回答対象73人

選択肢	回答数	回答割合
「文化」や「社会」の知と「工学」の協働に取り組むこと	32	43.8%
共創能力（発想力・発見力・デザイン力・対話力）、専門力、実践力を涵養すること	32	43.8%
社会課題の解決や文化の創造を通じたイノベーションを目指していること	29	39.7%
修了後の社会において役立つ実践的な科目※を重視していること	20	27.4%
多様な進路や高い専門性のあるキャリア形成をめざしていること	34	46.6%

※「共創工学演習」「共創工学ワークショップ・ファシリテーション（LIDEE）」「共創インターンI」「共創建築インターンI、II」「アントレプレナー・スタートアップ演習」等

次の問6は、問2で「卒業後すぐに進学したい」とした3年生59人の回答結果。

問6　お茶の水女子大学大学院 人間文化創成科学研究科博士前期課程「共創工学専攻（仮称）」を受験したいと思いますか。（あてはまるもの１つにマーク）

選択肢	回答数	回答割合
第一志望として受験する	17	28.8%
第二志望として受験する	10	16.9%
第三志望以降として受験する	4	6.8%
受験しない	28	47.5%
合計	59	100.0%

次の問7は、問6で「第一志望として受験する」とした3年生17人の回答結果。

問7　お茶の水女子大学大学院 人間文化創成科学研究科博士前期課程「共創工学専攻（仮称）」を受験して合格した場合、入学を希望しますか。（あてはまるもの１つにマーク）

選択肢	回答数	回答割合
入学する	16	94.1%
志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	1	5.9%
入学しない	0	0.0%
合計	17	100.0%

3年生対象アンケートのクロス集計に基づく結果

各項目は左項目の内数のため、「入学する」とした16人は左項目すべてを満たす。

在籍学年		大学院博士前期課程への進学意向（問2結果）		志望する大学院の設置者（問3結果）		学びたい興味のある学問分野（問4結果）		受験意向（問6結果）		入学意向（問7結果）	
お茶の水女子大学 ３年生	173人	卒業後すぐに進学したい	59人	国立	59人	下記※に該当	58人	第一志望として受験する	17人	入学する	16人

※次のうちいずれか又は複数に興味

「環境工学」「人間工学」「機械工学」「電気・電子工学」「データサイエンス」「情報処理学」「情報ネットワーク学」「コンピュータ・メディア工学」「制御工学」「土木建築工学」「建築学」「都市デザイン」「水処理」「応用化学（高分子材料）」「応用化学（生体材料工学）」「繊維工学」「医用工学」「工学その他」「文学」「言語学」「日本文化学」「史学」「地理学」「哲学」「心理学」「行動科学」「人文情報学」「美学芸術学」「人文科学その他」「社会科学（法学・政治学、経済学・経営学、社会学など）」「理学（数学、物理学、化学、生物、地学など）」「家政学（食物学、被服学、住居学など）」

(2) ２年生・１年生対象アンケート

問1　あなたの学年をお答えください。

選択肢	回答数	回答割合
１年生	185	56.2%
２年生	144	43.8%
合計	329	100.0%

問2　あなたの所属をお答えください。（あてはまるもの１つにマーク）

選択肢	回答数	回答割合
【文教育学部】人文科学科 哲学・倫理学・美術史コース	14	4.3%
【文教育学部】人文科学科 比較歴史学コース	9	2.7%
【文教育学部】人文科学科 地理学コース	10	3.0%
【文教育学部】言語文化学科 日本語・日本文学コース	29	8.8%
【文教育学部】言語文化学科 中国語圏言語文化コース	4	1.2%
【文教育学部】言語文化学科 英語圏言語文化コース	15	4.6%
【文教育学部】言語文化学科 仏語圏言語文化コース	5	1.5%
【文教育学部】人間社会科学科 教育科学コース	7	2.1%
【文教育学部】人間社会科学科 社会学コース	10	3.0%
【文教育学部】人間社会科学科 子ども学コース	8	2.4%
【文教育学部】芸術・表現行動学科　舞踊教育学コース	3	0.9%
【文教育学部】芸術・表現行動学科　音楽表現コース	9	2.7%
【文教育学部】グローバル文化学環	10	3.0%
【理学部】数学科	9	2.7%
【理学部】物理学科	16	4.9%
【理学部】化学科	13	4.0%
【理学部】生物学科	11	3.3%
【理学部】情報科学科	22	6.7%
【生活科学部】食物栄養学科	20	6.1%
【生活科学部】人間・環境科学科	12	3.6%
【生活科学部】人間生活学科　生活社会科学講座	18	5.5%
【生活科学部】人間生活学科 生活文化学講座	6	1.8%
【生活科学部】心理学科	21	6.4%
【共創工学部】人間環境工学科	26	7.9%
【共創工学部】文化情報工学科	22	6.7%
合計	329	100.0%

問3　あなたは大学院博士前期課程への進学を検討していますか。（あてはまるもの１つにマーク）

選択肢	回答数	回答割合
卒業後すぐに進学したい	115	35.0%
将来的に進学したい	37	11.2%
進学は考えていない	177	53.8%
合計	329	100.0%

次の問4～6は問3で「卒業後すぐに進学したい」「将来的に進学したい」とした2年生、1年生計152人が回答対象である。
（回答割合＝回答数÷回答対象152人）

問4　志望する大学院の設置者の希望を選択してください。（あてはまるもの全てにマーク）
＊複数回答のため回答数はのべ／回答割合＝各回答数÷回答対象152人

選択肢	回答数	回答割合
国立	152	100.0%
公立	29	19.1%
私立	15	9.9%

問5　学びたいと考えている興味のある学問分野を次の中から選択してください。（あてはまるもの全てにマーク）

＊複数回答のため回答数はのべ／回答割合＝各回答数÷回答対象152人

選択肢	回答数	回答割合
環境工学	34	22.4%
人間工学	30	19.7%
機械工学	19	12.5%
電気・電子工学	11	7.2%
データサイエンス	39	25.7%
情報処理学	26	17.1%
情報ネットワーク学	24	15.8%
コンピュータ・メディア工学	33	21.7%
制御工学	3	2.0%
土木建築工学	20	13.2%
建築学	27	17.8%
都市デザイン	39	25.7%
水処理	11	7.2%
応用化学（高分子材料）	17	11.2%
応用化学（生体材料工学）	16	10.5%
繊維工学	9	5.9%
医用工学	18	11.8%
工学その他	7	4.6%
文学	9	5.9%

選択肢	回答数	回答割合
言語学	13	8.6%
日本文化学	4	2.6%
史学	7	4.6%
地理学	4	2.6%
哲学	2	1.3%
心理学	15	9.9%
行動科学	3	2.0%
人文情報学	7	4.6%
美学芸術学	12	7.9%
人文科学その他	4	2.6%
社会科学（法学・政治学、経済学・経営学、社会学など）	11	7.2%
理学（数学、物理学、化学、生物、地学など）	39	25.7%
農学（農芸化学、農業工学、農業経済学など）	17	11.2%
保健（医学、歯学、薬学など）	9	5.9%
商船学	0	0.0%
家政学（食物学、被服学、住居学など）	19	12.5%
教育学（小・中・高校課程、体育学など）	8	5.3%
芸術（美術、デザイン、音楽、舞踊など）	16	10.5%
その他（教養学、総合科学、国際学、人間科学など）	8	5.3%

問6　構想中の博士前期課程「共創工学専攻（仮称）」には、以下のような特色があります。魅力的だと感じるものを選んでください。（あてはまるもの全てにマーク）

＊複数回答のため回答数はのべ／回答割合＝各回答数÷回答対象152人

選択肢	回答数	回答割合
「文化」や「社会」の知と「工学」の協働に取り組むこと	80	52.6%
共創能力（発想力・発見力・デザイン力・対話力）、専門力、実践力を涵養すること	64	42.1%
社会課題の解決や文化の創造を通じたイノベーションを目指していること	66	43.4%
修了後の社会において役立つ実践的な科目※を重視していること	36	23.7%
多様な進路や高い専門性のあるキャリア形成をめざしていること	69	45.4%

※「共創工学演習」「共創工学ワークショップ・ファシリテーション（LIDEE）」「共創インターンI」「共創建築インターンI、II」「アントレプレナー・スタートアップ演習」等

次の問7は、問3で「卒業後すぐに進学したい」とした2年生37人の回答結果。

問7　お茶の水女子大学大学院 人間文化創成科学研究科博士前期課程「共創工学専攻（仮称）」を受験したいと思いますか。（あてはまるもの１つにマーク）

選択肢	回答数	回答割合
第一志望として受験する	8	21.6%
第二志望として受験する	6	16.2%
第三志望以降として受験する	8	21.6%
受験しない	15	40.5%
合計	37	100.0%

次の問8は、問7で「第一志望として受験する」とした2年生8人の回答結果。

問８　お茶の水女子大学大学院 人間文化創成科学研究科博士前期課程「共創工学専攻（仮称）」を受験して合格した場合、入学を希望しますか。（あてはまるもの１つにマーク）

選択肢	回答数	回答割合
入学する	8	100.0%
志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	0	0.0%
入学しない	0	0.0%
合計	8	100.0%

2年生対象アンケートのクロス集計に基づく結果

各項目は左項目の内数のため、「入学する」とした8人は左項目すべてを満たす。

在籍学年（問1結果）		大学院博士後期課程への進学意向（問3結果）		志望する大学院の設置者（問4結果）		学びたい興味のある学問分野（問5結果）		受験意向（問7結果）		入学意向（問8結果）	
お茶の水女子大学 ２年生	144人	卒業後すぐに進学したい	37人	国立	37人	下記※に該当	37人	第一志望として受験する	8人	入学する	8人

※次のうちいずれか又は複数に興味
「環境工学」「人間工学」「機械工学」「電気・電子工学」「データサイエンス」「情報処理学」「情報ネットワーク学」「コンピュータ・メディア工学」「制御工学」「土木建築工学」「建築学」「都市デザイン」「水処理」「応用化学（高分子材料）」「応用化学（生体材料工学）」「繊維工学」「医用工学」「工学その他」「文学」「言語学」「日本文化学」「史学」「地理学」「哲学」「心理学」「行動科学」「人文情報学」「美学芸術学」「人文科学その他」「社会科学（法学・政治学、経済学・経営学、社会学など）」「理学（数学、物理学、化学、生物、地学など）」「家政学（食物学、被服学、住居学など）」

次の問7は、問3で「卒業後すぐに進学したい」とした1年生78人の回答結果。

問7　お茶の水女子大学大学院 人間文化創成科学研究科博士前期課程「共創工学専攻（仮称）」を受験したいと思いますか。（あてはまるもの１つにマーク）

選択肢	回答数	回答割合
第一志望として受験する	17	21.8%
第二志望として受験する	15	19.2%
第三志望以降として受験する	12	15.4%
受験しない	34	43.6%
合計	78	100.0%

次の問8は、問7で「第一志望として受験する」とした1年生17人の回答結果。

問８　お茶の水女子大学大学院 人間文化創成科学研究科博士前期課程「共創工学専攻（仮称）」を受験して合格した場合、入学を希望しますか。（あてはまるもの１つにマーク）

選択肢	回答数	回答割合
入学する	16	94.1%
志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	1	5.9%
入学しない	0	0.0%
合計	17	100.0%

1年生対象アンケートのクロス集計に基づく結果

各項目は左項目の内数のため、「入学する」とした16人は左項目すべてを満たす。

在籍学年（問1結果）		大学院博士後期課程への進学意向（問3結果）		志望する大学院の設置者（問4結果）		学びたい興味のある学問分野（問5結果）		受験意向（問7結果）		入学意向（問8結果）	
お茶の水女子大学 １年生	185人	卒業後すぐに進学したい	78人	国立	78人	下記※に該当	77人	第一志望として受験する	17人	入学する	16人

※次のうちいずれか又は複数に興味
「環境工学」「人間工学」「機械工学」「電気・電子工学」「データサイエンス」「情報処理学」「情報ネットワーク学」「コンピュータ・メディア工学」「制御工学」「土木建築工学」「建築学」「都市デザイン」「水処理」「応用化学（高分子材料）」「応用化学（生体材料工学）」「繊維工学」「医用工学」「工学その他」「文学」「言語学」「日本文化学」「史学」「地理学」「哲学」「心理学」「行動科学」「人文情報学」「美学芸術学」「人文科学その他」「社会科学（法学・政治学、経済学・経営学、社会学など）」「理学（数学、物理学、化学、生物、地学など）」「家政学（食物学、被服学、住居学など）」

お茶の水女子大学大学院 人間文化創成科学研究科
博士前期課程「共創工学専攻（仮称）」
入学意向アンケート調査

対象：お茶の水女子大学在学3年次生

1/3ページ

お茶の水女子大学では2026年度より、大学院人間文化創成科学研究科　博士前期課程「共創工学専攻（仮称）」を開設予定（設置構想中）です。

本学ではこのアンケート調査結果を通して、学部生の皆様からさまざまなご意見をお聞きし、本構想の充実を図っていきたいと考えています。

皆様からのご回答は、大学院人間文化創成科学研究科　博士前期課程「共創工学専攻（仮称）」の設置構想に係る統計資料ならびに、文部科学省への設置申請書類の一部資料としてのみ活用いたします。アンケートの回答は統計的に処理され、特定の個人が識別できる情報として、公表されることはありません。

アンケート調査へのご協力を、よろしくお願いいたします。

※このアンケート調査はお茶の水女子大学から委託された第三者機関（株式会社高等教育総合研究所）が実施しています。

※本アンケートおよびリーフレットに記載されている内容については予定であり、変更される可能性があります。

同意する 必須

本アンケートへの回答は一人一回となります。

☐ 同意する

次へ

お茶の水女子大学大学院 人間文化創成科学研究科
博士前期課程「共創工学専攻（仮称）」
入学意向アンケート調査

対象：お茶の水女子大学在学3年次生

2/3ページ

問1　あなたの所属をお答えください。（あてはまるもの１つにマーク）　必須

- ◯ 【文教育学部】人文科学科 哲学・倫理学・美術史コース
- ◯ 【文教育学部】人文科学科 比較歴史学コース
- ◯ 【文教育学部】人文科学科 地理学コース
- ◯ 【文教育学部】言語文化学科 日本語・日本文学コース
- ◯ 【文教育学部】言語文化学科 中国語圏言語文化コース
- ◯ 【文教育学部】言語文化学科 英語圏言語文化コース
- ◯ 【文教育学部】言語文化学科 仏語圏言語文化コース
- ◯ 【文教育学部】人間社会科学科 教育科学コース
- ◯ 【文教育学部】人間社会科学科 社会学コース
- ◯ 【文教育学部】人間社会科学科 子ども学コース
- ◯ 【文教育学部】芸術・表現行動学科　舞踊教育学コース
- ◯ 【文教育学部】芸術・表現行動学科　音楽表現コース
- ◯ 【文教育学部】グローバル文化学環
- ◯ 【理学部】数学科
- ◯ 【理学部】物理学科
- ◯ 【理学部】化学科
- ◯ 【理学部】生物学科
- ◯ 【理学部】情報科学科
- ◯ 【生活科学部】食物栄養学科
- ◯ 【生活科学部】人間・環境科学科
- ◯ 【生活科学部】人間生活学科　生活社会科学講座
- ◯ 【生活科学部】人間生活学科 生活文化学講座
- ◯ 【生活科学部】心理学科

次へ

戻る

お茶の水女子大学大学院 人間文化創成科学研究科
博士前期課程「共創工学専攻（仮称）」
入学意向アンケート調査

対象：お茶の水女子大学在学3年次生

3/3ページ

問2　あなたは大学院博士前期課程への進学を検討していますか。（あてはまるもの１つにマーク） 必須

- ◉ 卒業後すぐに進学したい
- ○ 将来的に進学したい
- ○ 進学は考えていない

問3　志望する大学院の設置者の希望を選択してください。（あてはまるもの全てにマーク） 必須

- ☐ 国立
- ☐ 公立
- ☐ 私立

問4　学びたいと考えている興味のある学問分野を次の中から選択してください。（あてはまるもの全てにマーク） 必須

- ☐ 環境工学
- ☐ 人間工学
- ☐ 機械工学
- ☐ 電気・電子工学
- ☐ データサイエンス
- ☐ 情報処理学
- ☐ 情報ネットワーク学
- ☐ コンピュータ・メディア工学
- ☐ 制御工学
- ☐ 土木建築工学
- ☐ 建築学
- ☐ 都市デザイン
- ☐ 水処理
- ☐ 応用化学（高分子材料）
- ☐ 応用化学（生体材料工学）
- ☐ 繊維工学
- ☐ 医用工学
- ☐ 工学その他
- ☐ 文学
- ☐ 言語学
- ☐ 日本文化学
- ☐ 史学
- ☐

- [ ] 哲学
- [ ] 心理学
- [ ] 行動科学
- [ ] 人文情報学
- [ ] 美学芸術学
- [ ] 人文科学その他
- [ ] 社会科学（法学・政治学、経済学・経営学、社会学など）
- [ ] 理学（数学、物理学、化学、生物、地学など）
- [ ] 農学（農芸化学、農業工学、農業経済学など）
- [ ] 保健（医学、歯学、薬学など）
- [ ] 商船学
- [ ] 家政学（食物学、被服学、住居学など）
- [ ] 教育学（小・中・高校課程、体育学など）
- [ ] 芸術（美術、デザイン、音楽、舞踊など）
- [ ] その他（教養学、総合科学、国際学、人間科学など）

お茶の水女子大学 大学院人間文化創成科学研究科 博士前期課程「共創工学専攻（仮称）」のリーフレットを読んだ上で、以下の質問にお答えください。

リーフレットPDFはこちら（ページが移動します）

お茶の水女子大学
Ochanomizu University

大学院人間文化創成科学研究科
博士前期課程

共創工学専攻（仮称）

令和8（2026）年4月に新設予定【設置構想中】

設置の背景

現代社会では持続可能性が重視されるだけでなく、生活の質の向上の実現化（Quality of Life）が求められます。その要請に応えるには多様な「知」とともに多角的な「視点」が必要であり、そのためにもジェンダーに関わらない多様な人材養成が必要となります。モノづくり、技術の創造といった工学系分野では特にこの考え方が重要ですが、日本でのジェンダーギャップは極めて大きく、この解消が喫緊の課題となっています。

設置の目的

工学系での専門的立場における女性人材のニーズが高まる中、本学では令和6（2024）年度に「文化」「社会」の知を「工学」と協働させ、安全、安心、快適な社会のための技術の構築と技術を応用した文化の創造を目指す共創工学部を立ち上げました。この理念を持ちつつ高度な技術と知識、さらに実践力を併せ持ち、リーダーシップを発揮できる専門家を育成する高等教育機関として、令和8（2026）年4月に博士前期課程「共創工学専攻（仮称）」を設置します。

養成する人材像

「文化」や「社会」の知を「工学」と協働させる共創能力を持ち、
社会ニーズに対応した技術の構築および技術を応用した文化の創造を目指す研究を展開する
高い実践力を有する人材を養成します。

ディプロマ・ポリシー（DP）

A. 共創能力（発想力・発見力・デザイン力・対話力）
工学とデータサイエンス、人文学・社会科学の専門領域を協働させ、
新しい技術や文化すなわちモノ・コトを工学的手法によって創造することができる能力

B. 専門力
自らの専門分野において高度な知識と技術、すなわち高度な専門知を習得し、
その分野でリーダーシップを発揮できる専門家となりうる能力

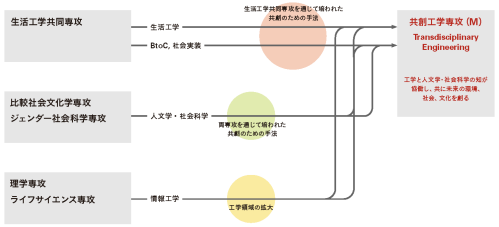
C. 実践力
社会ニーズに対応でき、かつ習得した高度な専門知を社会実装させることができる能力

共創による工学分野の拡大

本学の大学院には「生活のための工学」の理念のもと、共創のための手法を培ってきた生活工学共同専攻がありますが、この理念と手法を継承しつつ、ここに比較社会文化学専攻とジェンダー社会科学専攻で培われてきた人文学・社会科学分野の共創のための手法を導入します。加えてデータサイエンスなどを含む情報工学分野と協働し工学領域の拡大を図ります。こうして大学院 博士前期課程「共創工学専攻(仮称)」において、共創工学の理念のもと高度な実践的教育プログラムを実施します。

さらに令和10(2028)年度に博士後期課程の設置も視野に入れています。

大学院　人間文化創成科学研究科



身につけることのできる専門分野

3つのカテゴリー

文化情報

人文学・社会科学の専門知にデータサイエンスを協働させ、デザイン思考、文化創成を行います。

環境

持続可能な環境を実現するための技術およびシステム作りを行います。

人間

人間の健康を向上させるために、生体機能に基づいたマテリアル／デバイス開発を行います。

●……各カテゴリーにおける育成する人材像と主な進路

文化情報

人文学・社会科学の多様な資料(テキスト、地図、画像、造形、音声、映像など)をデジタル技術によって収集・加工し、データサイエンスを応用して多角的に解析できるだけでなく、工学知(デザイン思考と技術)と結びつけ、新たな文化や価値の創造や課題解決を行う人材を育成します。

(進路)情報コンサルティング業、マスメディア、文化分野・教育分野の事業にかかわるデータサイエンティストや企画職、博物館学芸員など。

環境

気候変動と災害・少子高齢化など様々な状況下における社会と人との関わりの中から新たな課題を発出し、健康や福祉の面において安全安心で快適な環境を多様な人々に対し提案する人材を育成します。

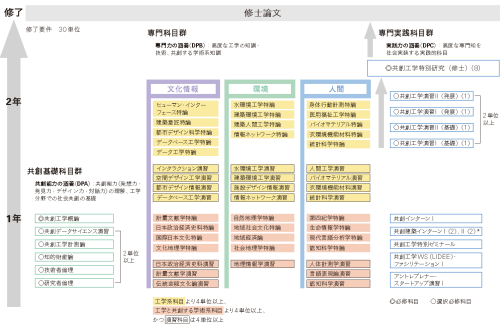
(進路)都市開発やまちづくり、地方再生の計画におけるデザイン職、建築デザイナー、行政職、一級建築士、研究職など。

人間

化学／生物系の専門知識を生かし、快適な空間を創造する材料／デバイス開発を通じて、多様な人々の生活の質を向上させるモノづくりやサービス開発を行う人材を育成します。

(進路)マテリアル系企業開発職、各種日常生活活動を支援する技術の開発、研究職、企画職など。

●……カリキュラムマップ



●……カリキュラムの特徴

「共創能力の涵養」　**共創基礎科目群**では、共創能力(発想力・発見力・デザイン力・対話力)を理解し、工学分野での社会共創の基礎を学びます。

「専門力の涵養」　**専門科目群**では、高度な知識・技術、共創する学術系知識を修得するため、工学系科目、工学と共創する学術系科目を学びます。

「実践力の涵養」　**専門実践科目群**では、工学と人文学・社会科学を高度に協働させ、社会実装する実践的研究に取り組む演習科目等により、共創工学の素養を高め、主体的・協調的な学びの態度や実践力を涵養します。

研究指導：2年間を通じて、学生は自身の研究テーマに応じたカテゴリーの主指導教員の研究指導を受けます。また他カテゴリーを含めた教員の中から副指導教員をつけることで多角的な視点での指導を受け、共創能力を養います。

問5　構想中の博士前期課程「共創工学専攻（仮称）」には、以下のような特色があります。魅力的だと感じるものを選んでください。（あてはまるもの全てにマーク）　必須

- [ ] 「文化」や「社会」の知と「工学」の協働に取り組むこと
- [ ] 共創能力（発想力・発見力・デザイン力・対話力）、専門力、実践力を涵養すること
- [ ] 社会課題の解決や文化の創造を通じたイノベーションを目指していること
- [ ] 修了後の社会において役立つ実践的な科目※を重視していること　※「共創工学演習」「共創工学ワークショップ・ファシリテーション（LIDEE）」「共創インターンI」「共創建築インターンI、II」「アントレプレナー・スタートアップ演習」等
- [ ] 多様な進路や高い専門性のあるキャリア形成をめざしていること

問6　お茶の水女子大学大学院 人間文化創成科学研究科博士前期課程「共創工学専攻（仮称）」を受験したいと思いますか。（あてはまるもの１つにマーク）　必須

- (●) 第一志望として受験する
- ( ) 第二志望として受験する
- ( ) 第三志望以降として受験する
- ( ) 受験しない

問7　お茶の水女子大学大学院 人間文化創成科学研究科博士前期課程「共創工学専攻（仮称）」を受験して合格した場合、入学を希望しますか。（あてはまるもの１つにマーク）　必須

- ( ) 入学する
- ( ) 志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する
- ( ) 入学しない

（自由回答）設置構想中のお茶の水女子大学大学院 人間文化創成科学研究科博士前期課程「共創工学専攻（仮称）」について期待される点、ご要望がございましたらご記入をお願いします。　任意

送信

戻る

お茶の水女子大学大学院 人間文化創成科学研究科
博士前期課程「共創工学専攻（仮称）」
入学意向アンケート調査

対象：お茶の水女子大学在学２年次生・１年次生

1/3ページ

お茶の水女子大学では2026年度より、大学院人間文化創成科学研究科　博士前期課程「共創工学専攻（仮称）」を開設予定（設置構想中）です。

本学ではこのアンケート調査結果を通して、学部生の皆様からさまざまなご意見をお聞きし、本構想の充実を図っていきたいと考えています。

皆様からのご回答は、大学院人間文化創成科学研究科　博士前期課程「共創工学専攻（仮称）」の設置構想に係る統計資料ならびに、文部科学省への設置申請書類の一部資料としてのみ活用いたします。アンケートの回答は統計的に処理され、特定の個人が識別できる情報として、公表されることはありません。

アンケート調査へのご協力を、よろしくお願いいたします。

※このアンケート調査はお茶の水女子大学から委託された第三者機関（株式会社高等教育総合研究所）が実施しています。

※本アンケートおよびリーフレットに記載されている内容については予定であり、変更される可能性があります。

同意する 必須

本アンケートへの回答は一人一回となります。

☐ 同意する

次へ

お茶の水女子大学大学院 人間文化創成科学研究科
博士前期課程「共創工学専攻（仮称）」
入学意向アンケート調査

対象：お茶の水女子大学在学２年次生・１年次生

2/3ページ

問1　あなたの学年をお答えください。 必須

選択してください

問2　あなたの所属をお答えください。（あてはまるもの１つにマーク） 必須

- ○ 【文教育学部】人文科学科 哲学・倫理学・美術史コース
- ○ 【文教育学部】人文科学科 比較歴史学コース
- ○ 【文教育学部】人文科学科 地理学コース
- ○ 【文教育学部】言語文化学科 日本語・日本文学コース
- ○ 【文教育学部】言語文化学科 中国語圏言語文化コース
- ○ 【文教育学部】言語文化学科 英語圏言語文化コース
- ○ 【文教育学部】言語文化学科 仏語圏言語文化コース
- ○ 【文教育学部】人間社会科学科 教育科学コース
- ○ 【文教育学部】人間社会科学科 社会学コース
- ○ 【文教育学部】人間社会科学科 子ども学コース
- ○ 【文教育学部】芸術・表現行動学科　舞踊教育学コース
- ○ 【文教育学部】芸術・表現行動学科　音楽表現コース
- ○ 【文教育学部】グローバル文化学環
- ○ 【理学部】数学科
- ○ 【理学部】物理学科
- ○ 【理学部】化学科
- ○ 【理学部】生物学科
- ○ 【理学部】情報科学科
- ○ 【生活科学部】食物栄養学科
- ○ 【生活科学部】人間・環境科学科
- ○ 【生活科学部】人間生活学科　生活社会科学講座
- ○ 【生活科学部】人間生活学科 生活文化学講座
- ○ 【生活科学部】心理学科
- ○ 【共創工学部】人間環境工学科
- ○ 【共創工学部】文化情報工学科

次へ

戻る

お茶の水女子大学大学院 人間文化創成科学研究科
博士前期課程「共創工学専攻（仮称）」
入学意向アンケート調査

対象：お茶の水女子大学在学２年次生・１年次生

3/3ページ

問3　あなたは大学院博士前期課程への進学を検討していますか。（あてはまるもの１つにマーク） 必須

- ◉ 卒業後すぐに進学したい
- ○ 将来的に進学したい
- ○ 進学は考えていない

問4　志望する大学院の設置者の希望を選択してください。（あてはまるもの全てにマーク） 必須

- ☐ 国立
- ☐ 公立
- ☐ 私立

問5　学びたいと考えている興味のある学問分野を次の中から選択してください。（あてはまるもの全てにマーク） 必須

- ☐ 環境工学
- ☐ 人間工学
- ☐ 機械工学
- ☐ 電気・電子工学
- ☐ データサイエンス
- ☐ 情報処理学
- ☐ 情報ネットワーク学
- ☐ コンピュータ・メディア工学
- ☐ 制御工学
- ☐ 土木建築工学
- ☐ 建築学
- ☐ 都市デザイン
- ☐ 水処理
- ☐ 応用化学（高分子材料）
- ☐ 応用化学（生体材料工学）
- ☐ 繊維工学
- ☐ 医用工学
- ☐ 工学その他
- ☐ 文学
- ☐ 言語学
- ☐ 日本文化学
- ☐ 史学
- ☐

- [ ] 哲学
- [ ] 心理学
- [ ] 行動科学
- [ ] 人文情報学
- [ ] 美学芸術学
- [ ] 人文科学その他
- [ ] 社会科学（法学・政治学、経済学・経営学、社会学など）
- [ ] 理学（数学、物理学、化学、生物、地学など）
- [ ] 農学（農芸化学、農業工学、農業経済学など）
- [ ] 保健（医学、歯学、薬学など）
- [ ] 商船学
- [ ] 家政学（食物学、被服学、住居学など）
- [ ] 教育学（小・中・高校課程、体育学など）
- [ ] 芸術（美術、デザイン、音楽、舞踊など）
- [ ] その他（教養学、総合科学、国際学、人間科学など）

お茶の水女子大学 大学院人間文化創成科学研究科 博士前期課程「共創工学専攻（仮称）」のリーフレットを読んだ上で、以下の質問にお答えください。

リーフレットPDFはこちら（ページが移動します）

お茶の水女子大学
Ochanomizu University

大学院人間文化創成科学研究科
博士前期課程

共創工学専攻（仮称）

令和8（2026）年4月に新設予定【設置構想中】

設置の背景

現代社会では持続可能性が重視されるだけでなく、生活の質の向上の実現化（Quality of Life）が求められます。その要請に応えるには多様な「知」とともに多角的な「視点」が必要であり、そのためにもジェンダーに関わらない多様な人材養成が必要となります。モノづくり、技術の創造といった工学系分野では特にこの考え方が重要ですが、日本でのジェンダーギャップは極めて大きく、この解消が喫緊の課題となっています。

設置の目的

工学系での専門的立場における女性人材のニーズが高まる中、本学では令和6（2024）年度に「文化」「社会」の知を「工学」と協働させ、安全、安心、快適な社会のための技術の構築と技術を応用した文化の創造を目指す共創工学部を立ち上げました。この理念を持ちつつ高度な技術と知識、さらに実践力を併せ持ち、リーダーシップを発揮できる専門家を育成する高等教育機関として、令和8（2026）年4月に博士前期課程「共創工学専攻（仮称）」を設置します。

養成する人材像

「文化」や「社会」の知を「工学」と協働させる共創能力を持ち、
社会ニーズに対応した技術の構築および技術を応用した文化の創造を目指す研究を展開する
高い実践力を有する人材を養成します。

ディプロマ・ポリシー（DP）

A. 共創能力（発想力・発見力・デザイン力・対話力）
工学とデータサイエンス、人文学・社会科学の専門領域を協働させ、
新しい技術や文化すなわちモノ・コトを工学的手法によって創造することができる能力

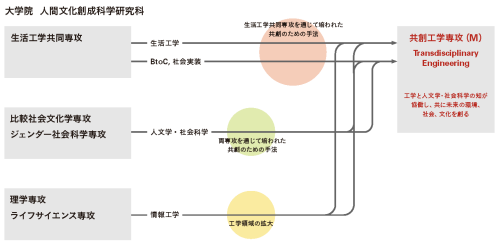
B. 専門力
自らの専門分野において高度な知識と技術、すなわち高度な専門知を習得し、
その分野でリーダーシップを発揮できる専門家となりうる能力

C. 実践力
社会ニーズに対応でき、かつ習得した高度な専門知を社会実装させることができる能力

共創による工学分野の拡大

本学の大学院には「生活のための工学」の理念のもと、共創のための手法を培ってきた生活工学共同専攻がありますが、この理念と手法を継承しつつ、ここに比較社会文化学専攻とジェンダー社会科学専攻で培われてきた人文学・社会科学分野の共創のための手法を導入します。加えてデータサイエンスなどを含む情報工学分野と協働し工学領域の拡大を図ります。こうして大学院 博士前期課程「共創工学専攻(仮称)」において、共創工学の理念のもと高度な実践的教育プログラムを実施します。

さらに令和10(2028)年度に博士後期課程の設置も視野に入れています。



身につけることのできる専門分野

3つのカテゴリー

文化情報

人文学・社会科学の専門知にデータサイエンスを協働させ、デザイン思考、文化創成を行います。

環境

持続可能な環境を実現するための技術およびシステム作りを行います。

人間

人間の健康を向上させるために、生体機能に基づいたマテリアル／デバイス開発を行います。

●……各カテゴリーにおける育成する人材像と主な進路

文化情報

人文学・社会科学の多様な資料(テキスト、地図、画像、造形、音声、映像など)をデジタル技術によって収集・加工し、データサイエンスを応用して多角的に解析できるだけでなく、工学知(デザイン思考と技術)と結びつけ、新たな文化や価値の創造や課題解決を行う人材を育成します。

(進路)情報コンサルティング業、マスメディア、文化分野・教育分野の事業にかかわるデータサイエンティストや企画職、博物館学芸員など。

環境

気候変動と災害・少子高齢化など様々な状況下における社会と人との関わりの中から新たな課題を発出し、健康や福祉の面において安全安心で快適な環境を多様な人々に対し提案する人材を育成します。

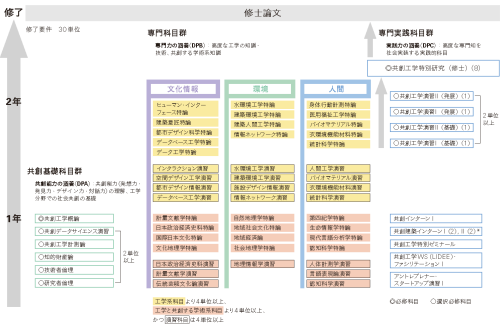
(進路)都市開発やまちづくり、地方再生の計画におけるデザイン職、建築デザイナー、行政職、一級建築士、研究職など。

人間

化学／生物系の専門知識を生かし、快適な空間を創造する材料／デバイス開発を通じて、多様な人々の生活の質を向上させるモノづくりやサービス開発を行う人材を育成します。

(進路)マテリアル系企業開発職、各種日常生活活動を支援する技術の開発、研究職、企画職など。

●……カリキュラムマップ



●……カリキュラムの特徴

「共創能力の涵養」　**共創基礎科目群**では、共創能力(発想力・発見力・デザイン力・対話力)を理解し、工学分野での社会共創の基礎を学びます。

「専門力の涵養」　**専門科目群**では、高度な知識・技術、共創する学術系知識を修得するため、工学系科目、工学と共創する学術系科目を学びます。

「実践力の涵養」　**専門実践科目群**では、工学と人文学・社会科学を高度に協働させ、社会実装する実践的研究に取り組む演習科目等により、共創工学の素養を高め、主体的・協調的な学びの態度や実践力を涵養します。

研究指導　2年間を通じて、学生は自身の研究テーマに応じたカテゴリーの主指導教員の研究指導を受けます。また他カテゴリーを含めた教員の中から副指導教員をつけることで多角的な視点での指導を受け、共創能力を養います。

問6　構想中の博士前期課程「共創工学専攻（仮称）」には、以下のような特色があります。魅力的だと感じるものを選んでください。（あてはまるもの全てにマーク）　必須

- [ ] 「文化」や「社会」の知と「工学」の協働に取り組むこと
- [ ] 共創能力（発想力・発見力・デザイン力・対話力）、専門力、実践力を涵養すること
- [ ] 社会課題の解決や文化の創造を通じたイノベーションを目指していること
- [ ] 修了後の社会において役立つ実践的な科目※を重視していること　※「共創工学演習」「共創工学ワークショップ・ファシリテーション（LIDEE）」「共創インターンI」「共創建築インターンI、II」「アントレプレナー・スタートアップ演習」等
- [ ] 多様な進路や高い専門性のあるキャリア形成をめざしていること

問7　お茶の水女子大学大学院 人間文化創成科学研究科博士前期課程「共創工学専攻（仮称）」を受験したいと思いますか。（あてはまるもの１つにマーク）　必須

- (●) 第一志望として受験する
- ( ) 第二志望として受験する
- ( ) 第三志望以降として受験する
- ( ) 受験しない

問8　お茶の水女子大学大学院 人間文化創成科学研究科博士前期課程「共創工学専攻（仮称）」を受験して合格した場合、入学を希望しますか。（あてはまるもの１つにマーク）　必須

- ( ) 入学する
- ( ) 志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する
- ( ) 入学しない

（自由回答）設置構想中のお茶の水女子大学大学院 人間文化創成科学研究科博士前期課程「共創工学専攻（仮称）」について期待される点、ご要望がございましたらご記入をお願いします。　任意

送信

戻る

お茶の水女子大学
Ochanomizu University

大学院人間文化創成科学研究科
博士前期課程

共創工学専攻（仮称）

令和８（2026）年４月に新設予定【設置構想中】

設置の背景

現代社会では持続可能性が重視されるだけでなく、生活の質の向上の充実化（Quality of Life）が求められます。その要請に応えるには多様な「知」とともに多角的な「視点」が必要であり、そのためにもジェンダーに関わらない多様な人材養成が必要となります。モノづくり、技術の創造といった工学系分野では特にこの考え方が重要ですが、日本でのジェンダーギャップは極めて大きく、この解消が喫緊の課題となっています。

設置の目的

工学系での専門的立場における女性人材のニーズが高まる中、本学では令和６（2024）年度に「文化」「社会」の知を「工学」と協働させ、安全、安心、快適な社会のための技術の構築と技術を応用した文化の創造を目指す共創工学部を立ち上げました。この理念を持ちつつ高度な技術と知識、さらに実践力を併せ持ち、リーダーシップを発揮できる専門家を育成する高等教育機関として、令和８（2026）年４月に博士前期課程「共創工学専攻（仮称）」を設置します。

養成する人材像

「文化」や「社会」の知を「工学」と協働させる共創能力を持ち、
社会ニーズに対応した技術の構築および技術を応用した文化の創造を目指す研究を展開する
高い実践力を有する人材を養成します。

ディプロマ・ポリシー（DP）

A. 共創能力〈発想力・発見力・デザイン力・対話力〉

工学とデータサイエンス、人文学・社会科学の専門領域を協働させ、
新しい技術や文化すなわちモノ・コトを工学的手法によって創造することができる能力

B. 専門力

自らの専門分野において高度な知識と技術、すなわち高度な専門知を習得し、
その分野でリーダーシップを発揮できる専門家となりうる能力

C. 実践力

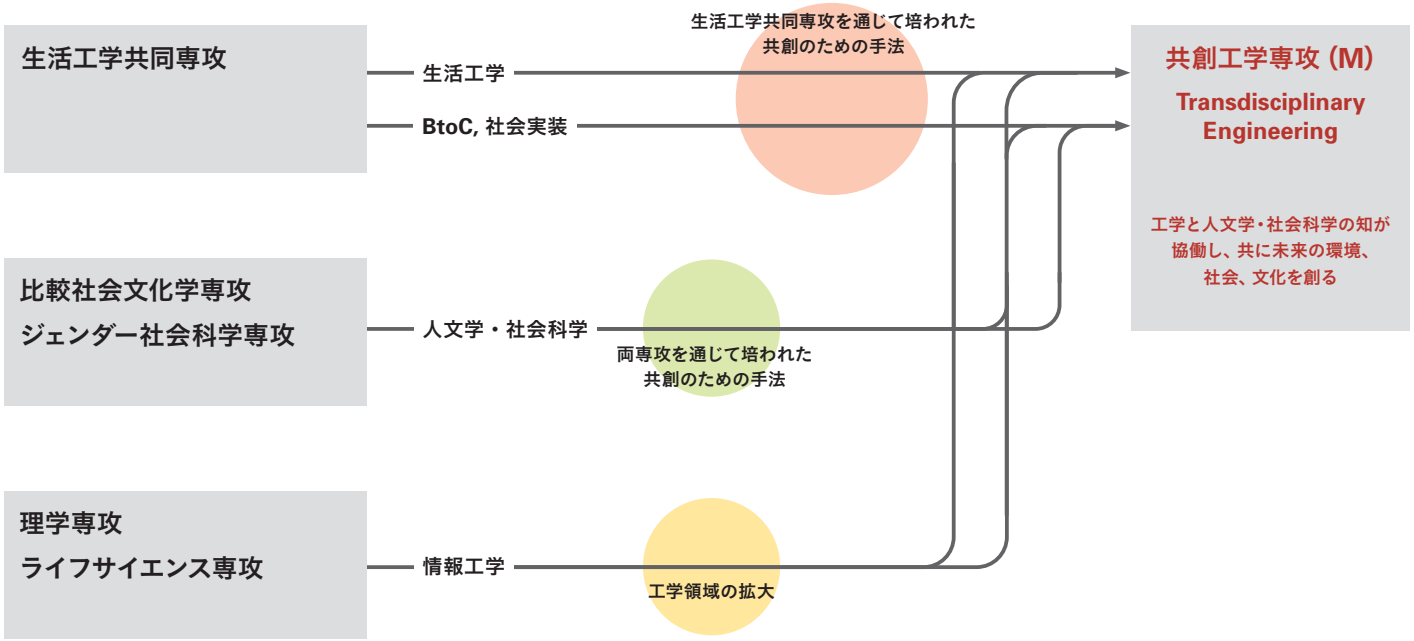
社会ニーズに対応でき、かつ習得した高度な専門知を社会実装させることができる能力

共創による工学分野の拡大

本学の大学院には「生活のための工学」の理念のもと、共創のための手法を培ってきた生活工学共同専攻がありますが、この理念と手法を継承しつつ、ここに比較社会文化学専攻とジェンダー社会科学専攻で培われてきた人文学・社会科学分野の共創のための手法を導入します。加えてデータサイエンスなどを含む情報工学分野と協働し工学領域の拡大を図ります。こうして大学院 博士前期課程「共創工学専攻（仮称）」において、共創工学の理念のもと高度な実践的教育プログラムを実施します。

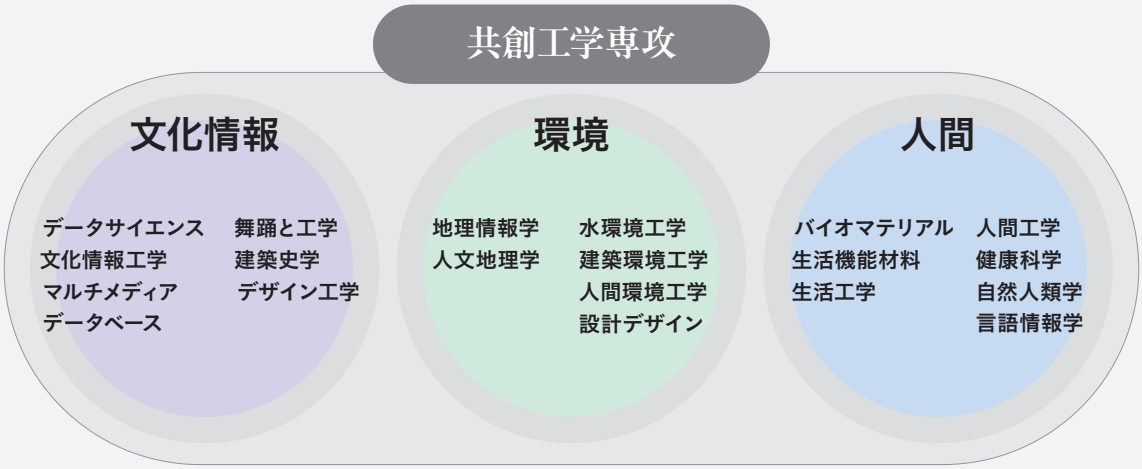
さらに令和10（2028）年度に博士後期課程の設置も視野に入れています。

大学院　人間文化創成科学研究科



身につけることのできる専門分野

3つのカテゴリー



文化情報

人文学・社会科学の専門知にデータサイエンスを協働させ、デザイン思考、文化創成を行います。

環境

持続可能な環境を実現するための技術およびシステム作りを行います。

人間

人間の健康を向上させるために、生体機能に基づいたマテリアル／デバイス開発を行います。

●……各カテゴリーにおける育成する人材像と主な進路

文化情報

人文学・社会科学の多様な資料（テキスト、地図、画像、造形、音声、映像など）をデジタル技術によって収集・加工し、データサイエンスを応用して多角的に解析できるだけでなく、工学知（デザイン思考と技術）と結びつけ、新たな文化や価値の創造や課題解決を行う人材を育成します。

〈**進路**〉情報コンサルティング業、マスメディア、文化分野・教育分野の事業にかかわるデータサイエンティストや企画職、博物館学芸員など。

環境

気候変動と災害・少子高齢化など様々な状況下における社会と人との関わりの中から新たな課題を見出し、健康や福祉の面において安全安心で快適な環境を多様な人々に対し提案する人材を育成します。

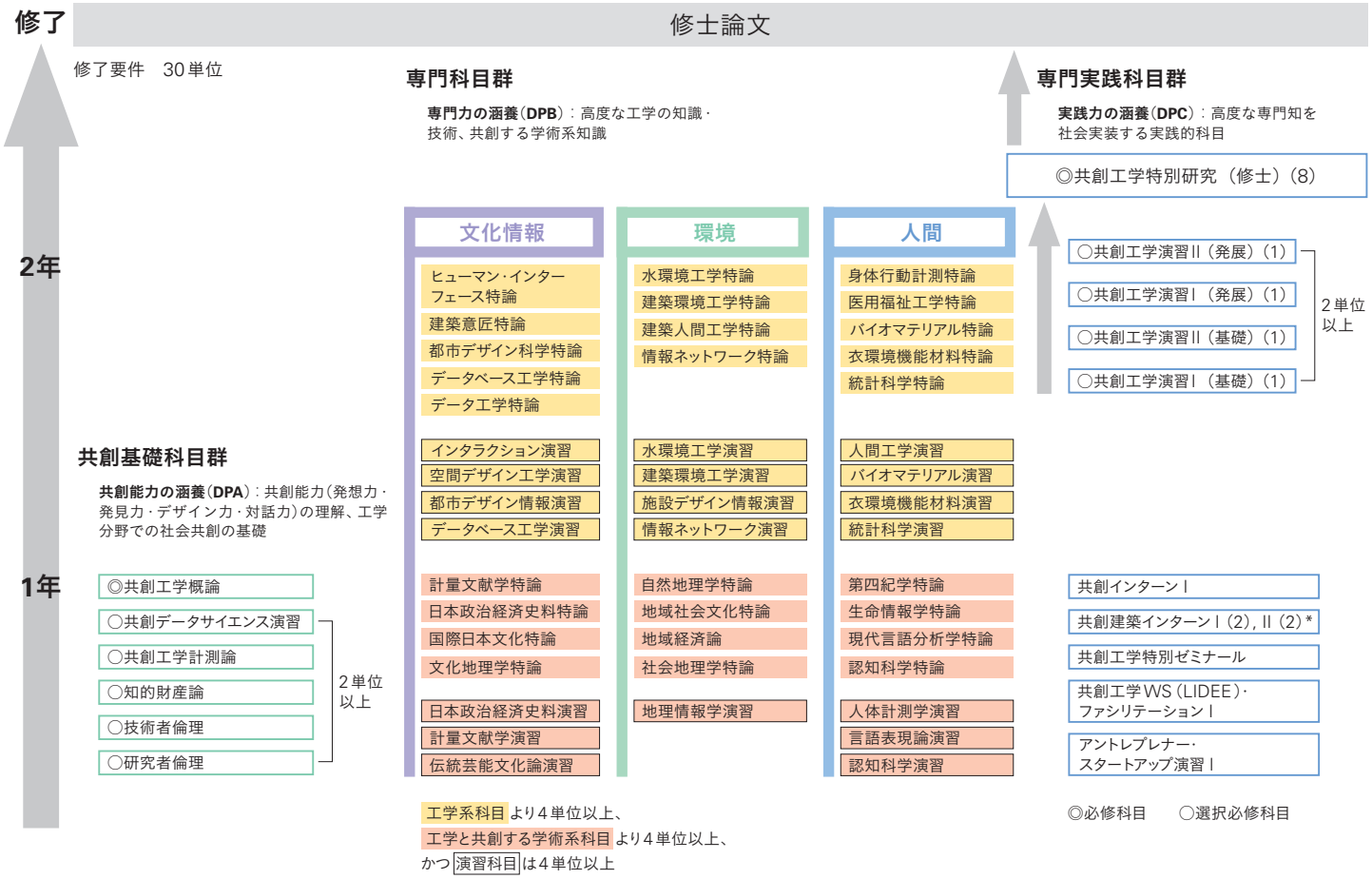
〈**進路**〉都市開発やまちづくり、地方再生の計画におけるデザイン職、建築デザイナー、行政職、一級建築士、研究職など。

人間

化学／生物系の専門知識を生かし、快適な空間を創造する材料／デバイス開発を通じて、多様な人々の生活の質を向上させるモノづくりやサービス開発を行う人材を育成します。

〈**進路**〉マテリアル系企業開発職、各種日常生活活動を支援する技術の開発、研究職、企画職など。

●……カリキュラムマップ



●……カリキュラムの特徴

「共創能力の涵養」　**共創基礎科目群**では、共創能力（発想力・発見力・デザイン力・対話力）を理解し、工学分野での社会共創の基礎を学びます。

「専門力の涵養」　**専門科目群**では、高度な知識・技術、共創する学術系知識を修得するため、工学系科目、工学と共創する学術系科目を学びます。

「実践力の涵養」　**専門実践科目群**では、工学と人文学・社会科学を高度に協働させ、社会実装する実践的研究に取り組む演習科目等により、共創工学の素養を高め、主体的・協調的な学びの態度や実践力を涵養します。

研究指導：2年間を通じて、学生は自身の研究テーマに応じたカテゴリーの主指導教員の研究指導を受けます。また他カテゴリーを含めた教員の中から副指導教員をつけることで多角的な視点での指導を受け、共創能力を養います。

●…… 各カテゴリーでのアウトカムの例

～「工学系」および「工学と共創する学術系」の共創による研究事例～

文化情報

豊かな文化に囲まれた社会のために

古典文学作品の著者推定

文学
テキストマイニング
データサイエンス

ダンス動作のデータの分析とフィードバックによるアートへの展開

ダンス・アート
身体動作解析
電気電子工学技術

江戸の歌舞伎劇場研究 浮世絵からのVRモデリング

建築史
VRモデリング

環境

持続可能な社会のために

水使用量を需要側でマネジメントするための情報伝達方法

環境工学、計測工学
情報処理
社会経済学

GISを用いた津波避難施設の最適設置計画

都市工学、建築工学
地理情報解析
地理学、認知科学

乳がん検診用ベッドの人間工学的評価によるデザイン

人間工学、建築工学
ユーザのQoL調査
デザイン科学

人間

QOL・ウェルビーイング向上のために

高齢者の転倒予防を目的としたスマートシューズの研究

人間工学、計測工学
情報工学
高齢者ユーザのQoL調査

ハイドロゲル表面／界面の科学 医療現場などで活用できるユニークな生体材料の開発

新たな治療法の開発
生体内ハイドロゲル
人工ECMと細胞の相互作用解析

日本語コミュニケーション力の改善

言語学
システムデザイン
情報処理

●…… アドミッション・ポリシー

- 共創工学の深い専門知識と高度な技術を身につけた技術者を目指している人
- 学修した工学の知識と技術を、人文学・社会科学の知識と協働させて「生きた知識」「生きた技術」にし、現実的諸課題の解決に積極的に貢献したいという意欲を持っている人
- 広い視野と倫理観を身につけて、共創工学の趣旨にもとづき、課題解決のためにさまざまな人と協働するためのリーダーシップや行動力、コミュニケーション力を発揮しようとする意欲を持っている人

●…… 入学者選抜方法

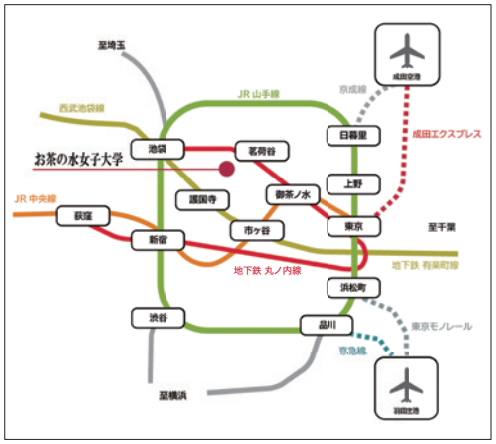
一般選抜、社会人特別選抜、外国人留学生特別選抜を実施

●…… 共創工学専攻（仮称）概要

名称	**大学院人間文化創成科学研究科博士前期課程 共創工学専攻（仮称）**
定員	12名～14名
学位	修士（共創工学）、修士（工学）、修士（学術）
修業年限	2年
入学料・授業料（予定額）	入学料　282,000円 授業料　半期分267,900円（年額535,800円） ※入学時および在学中に授業料の改訂が行われた場合は、改定時から新しい授業料が適用されます。 ※入学料・授業料の減免、奨学金などの経済的支援制度があります。

この構想は決定事項ではありません。専攻設置（2026年度）は予定であり、今後変更されることもありますので、ご注意ください。

●…… 本学へのアクセス



■ 東京メトロ丸ノ内線「茗荷谷」駅より徒歩7分
■ 東京メトロ有楽町線「護国寺」駅より徒歩8分
■ 都営バス「大塚2丁目」停留所下車徒歩1分

資料b

お茶の水女子大学大学院

人間文化創成科学研究科 博士前期課程「共創工学専攻（仮称）」

設置構想についての人材需要アンケート調査

報告書

令和７年３月

株式会社高等教育総合研究所

目次

1.　人材需要アンケート調査 概要..... 2

2.　人材需要アンケート調査 集計結果..... 3

3.　人材需要アンケート調査 結果の要点..... 8

人材需要アンケート調査用紙..... 9

大学院人間文化創成科学研究科 博士前期課程「共創工学専攻（仮称）」リーフレット.. 11

1. 人材需要アンケート調査 概要

調査目的	令和8年（2026年）度にお茶の水女子大学大学院が設置構想中の人間文化創成科学研究科 博士前期課程「共創工学専攻（仮称）」における修了者の採用・就職（人材需要）の見込みを測定することを目的とする。
調査対象	[調査対象] お茶の水女子大学卒業生・修了生の採用企業または企業向け説明会参加企業 [依頼件数] 531件
調査内容	■ 回答対象先の基本情報（業種・所在地・従業員／職員規模） ■ お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科 博士前期課程「共創工学専攻（仮称）」修了生の人材ニーズ ■ お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科 博士前期課程「共創工学専攻（仮称）」修了生の採用意向
調査時期	令和6年11月～12月
調査方法	調査対象事業所に対しアンケートを郵送し依頼することにより実施 （紙方式・web方式での回答方法を案内し、いずれかで回答を依頼）
回収件数	有効回答数68件（回収率12.8%）
調査結果	回答対象先の89.7%に当たる61箇所がお茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科 博士前期課程「共創工学専攻（仮称）」で養成する人材のニーズは高いとの見解を示した。 回答対象先の67.6%に当たる46箇所からお茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科 博士前期課程「共創工学専攻（仮称）」が養成する人材の採用意向が示された。そのうえで採用可能人数は63名以上であった。

2.　人材需要アンケート調査 集計結果

※「回答割合」（%）はいずれも、小数点第二位を四捨五入しているため
合計は必ずしも100%とならない。

問１　貴社の本社または貴機関の本部所在地について、お答えください。（あてはまるもの１つ）

選択肢	回答数	回答割合
北海道	0	0.0%
青森県	0	0.0%
岩手県	0	0.0%
宮城県	0	0.0%
秋田県	0	0.0%
山形県	0	0.0%
福島県	0	0.0%
茨城県	1	1.5%
栃木県	0	0.0%
群馬県	0	0.0%
埼玉県	2	2.9%
千葉県	0	0.0%
東京都	44	64.7%
神奈川県	6	8.8%
新潟県	1	1.5%
富山県	0	0.0%
石川県	1	1.5%
福井県	2	2.9%
山梨県	0	0.0%
長野県	1	1.5%
岐阜県	0	0.0%
静岡県	1	1.5%
愛知県	1	1.5%
三重県	0	0.0%
滋賀県	0	0.0%
京都府	2	2.9%
大阪府	3	4.4%
兵庫県	0	0.0%
奈良県	0	0.0%
和歌山県	0	0.0%
鳥取県	0	0.0%
島根県	0	0.0%
岡山県	0	0.0%
広島県	1	1.5%
山口県	0	0.0%
徳島県	1	1.5%
香川県	0	0.0%
愛媛県	0	0.0%
高知県	0	0.0%
福岡県	0	0.0%
佐賀県	0	0.0%
長崎県	0	0.0%
熊本県	1	1.5%
大分県	0	0.0%
宮崎県	0	0.0%
鹿児島県	0	0.0%
沖縄県	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	68	100.0%

問２　貴社・貴機関の業種（主な事業内容）として、最もあてはまるものをお選びください。（あてはまるもの１つ）

選択肢	回答数	回答割合
農業、林業、漁業、鉱業	0	0.0%
建設業	2	2.9%
電気、ガス、熱供給、水道業	0	0.0%
製造業	20	29.4%
通信業	1	1.5%
IT関連業	17	25.0%
放送、新聞、出版業	2	2.9%
運輸業、郵便業	0	0.0%
金融業（銀行・信託・証券・貸金）	2	2.9%
保険業	0	0.0%
学術研究、専門・技術サービス	3	4.4%
卸売業、小売業	4	5.9%
不動産業、物品賃貸業	3	4.4%
旅行業	1	1.5%
宿泊業、飲食サービス業	0	0.0%
教育・学習支援業	5	7.4%
生活関連サービス業、娯楽業	1	1.5%
医療	0	0.0%
福祉	0	0.0%
その他サービス業	2	2.9%
国家公務	1	1.5%
地方公務	2	2.9%
非営利団体	1	1.5%
その他	1	1.5%
無回答	0	0.0%
合計	68	100.0%

問３　貴社・貴機関の従業員・職員規模として、最もあてはまるものをお選びください。（あてはまるもの１つ）

選択肢	回答数	回答割合
20名未満	2	2.9%
20名以上100名未満	6	8.8%
100名以上300名未満	7	10.3%
300名以上1,000名未満	14	20.6%
1,000名以上	39	57.4%
無回答	0	0.0%
合計	68	100.0%

問４　アンケートご回答者の人事採用への関与度をお教えください。（あてはまるもの１つ）

選択肢	回答数	回答割合
採用の決定権があり、選考にかかわっている	21	30.9%
採用の決裁権はないが、選考にかかわっている	43	63.2%
採用時に直接かかわらず、情報や意見を収集、提供する立場にある	4	5.9%
無回答	0	0.0%
合計	68	100.0%

問５　お茶の水女子大学が設置構想中の人間文化創成科学研究科 博士前期課程「共創工学専攻（仮称）」には、以下のような特色があります。魅力的だと感じるものを選んでください。（あてはまるもの全て）
＊複数回答のため回答数はのべ／回答割合＝回答数÷回答対象68人

選択肢	回答数	回答割合
「文化」や「社会」の知と「工学」の協働に取り組むこと	44	64.7%
共創能力（発想力・発見力・デザイン力・対話力）、専門力、実践力を涵養すること	52	76.5%
社会課題の解決や文化の創造を通じたイノベーションを目指していること	50	73.5%
修了後の社会において役立つ実践的な科目※を重視していること	37	54.4%

※「共創工学演習」「共創工学ワークショップ・ファシリテーション(LIDEE)」「共創インターンⅠ」「共創建築インターンⅠ、Ⅱ」「アントレプレナー・スタートアップ演習」等

問６　お茶の水女子大学が設置構想中の人間文化創成科学研究科 博士前期課程「共創工学専攻（仮称）」が養成する人材についての社会ニーズについてお伺いします。（あてはまるもの１つ）

選択肢	回答数	回答割合
ニーズは極めて高い	23	33.8%
ニーズはある程度高い	38	55.9%
ニーズはあまり高くない	0	0.0%
ニーズは高くない	0	0.0%
わからない	7	10.3%
無回答	0	0.0%
合計	68	100.0%

問７　お茶の水女子大学が設置構想中の人間文化創成科学研究科 博士前期課程「共創工学専攻（仮称）」が養成する人材について採用したいと思われますか。（あてはまるもの１つ）

選択肢	回答数	回答割合
採用したい	46	67.6%
採用しない	1	1.5%
わからない	21	30.9%
無回答	0	0.0%
合計	68	100.0%

問８　問７で「採用したい」とされた場合、現時点で採用可能と思われる人数は何人ですか。

選択肢	回答数	回答割合
1人	6	8.8%
2人	3	4.4%
3人	2	2.9%
4人	1	1.5%
5人以上	2	2.9%
人数は未確定だが、最低1人	31	45.6%
無回答	1	2.2%
合計	46	100.0%

問９　お茶の水女子大学が設置構想中の人間文化創成科学研究科 博士前期課程「共創工学専攻（仮称）」について期待される点ご要望がありましたらご自由にご記入ください。

番号	回答
1	データベースの活用を推進しているため、その分野に詳しく、新しい発想ができる人材の育成に大変期待しています。
2	幅広い分野での学習から点を線でつなぎ、面でとらえられる思考力が養われることを期待します。
3	“食”を軸とした企業を目指しており多方面のアプローチや様々な視点を持つ方々が必要になってくると思っております。
4	弊社が進学塾を運営する立場のため学んだ分野を活かし新しいことに興味をもって、チャレンジしていける学生が選考に参加していただければ幸甚でございます。
5	共創工学専攻の中で得られる学びは、現代社会において非常に重要なものであると感じました。学生の皆さんが意欲的に学び、実践できる場の提供を期待します。
6	新設される専攻にて学びを習得された学生さんが社会にて大いにご活躍されることを期待しております。
7	システム開発、アジャイル開発手法、クラウド、IoT、生成AIの活用などをテーマに取り組み、システム開発の基礎スキルを習得してもらえるとより実用的で嬉しい。技術系の創造力の源は自分で作り込める力量に根ざしているのではないかと思うからです。逆にシステム開発力が0の状態でシステムを伴う創造をするのは困難な時代にいるのではないかと思っています。
8	弊社におきましては、文化情報（特にデータサイエンス）を学んだ方との親和性が高いと思われます。
9	工学の分野に女性の参入が増えるのは大変喜ばしいことと思います。従来とは少し角度の違う視点での研究が進むことを期待いたします。
10	当社においても、製造現場における工学系技術者の必要性が高まっています。製造業をご希望いただける学生様が増えると、当社のみならず日本のものづくりの発展につながると考えています。
11	当社の事業としては、様々な分野で活躍いただける人材の育成に期待できると考えております。

3.　人材需要アンケート調査 結果の要点

お茶の水女子大学が設置構想中の人間文化創成科学研究科 博士前期課程「共創工学専攻（仮称）」が養成する人材（修了生）の社会ニーズについては「ニーズは極めて高い」23箇所（33.8%）、「ニーズはある程度高い」38箇所（55.9%）で合計すると61箇所（89.7%）がその必要性について認めた。

修了生の採用意向については46箇所（67.6%）が「採用したい」とし、その上で示された採用可能人数の合計は63人であった。

問６　修了生の社会ニーズ

ニーズは極めて高い・ニーズはある程度高い	61事業所	89.7%
ニーズはあまり高くない・ニーズは高くない・わからない・無回答	7事業所	10.3%
合計	68事業所	100.0%

問７　修了生の採用意向

採用したい	46事業所	67.6%
採用しない・わからない・無回答	22事業所	32.4%
合計	68事業所	100.0%

問８「採用したい」とした上での採用可能人数

	1人	2人	3人	4人	5人以上	人数は未確定だが、最低1人	無回答	合計
「採用したい」の回答数	6	3	2	1	2	31	1	46
採用可能人数計（回答数×採用可能人数）	**6人**	**6人**	**6人**	**4人**	**10人**	**31人**	**0人**	**63人**

※「5人以上」は5人として計算した。

※「人数は未定だが、最低1人」は1人として計算した。

お茶の水女子大学大学院 人間文化創成科学研究科
博士前期課程「共創工学専攻（仮称）」
設置構想についての人材需要アンケート

お茶の水女子大学では 2026 年度より、大学院人間文化創成科学研究科 博士前期課程「共創工学専攻（仮称）」を設置構想中です。「リーフレット」をご覧の上、同専攻への採用意向に関する調査にご協力をお願いします。なお、この調査の結果は、統計資料としてのみ用い、他の用途に使用することはありません。

※このアンケート調査はお茶の水女子大学から委託された第三者機関（株式会社高等教育総合研究所）が実施しています。
※本アンケートおよびリーフレットに記載されている内容については予定であり、今後変更になる可能性があります。

記入要領	1. 回答は**所定の欄を塗りつぶしてください。** 2. この用紙は電算処理しますので汚さないようにしてください。 3. 記入は必ず**鉛筆又はシャープペンシル**で濃く書いてください。	【記入例】 ● ① 大学 0 ② 短期大学

問１　貴社の本社または貴機関の本部所在地について、お答えください。（あてはまるもの１つ）

0 北海道	0 青森県	0 岩手県	0 宮城県	0 秋田県	0 山形県	0 福島県
0 茨城県	0 栃木県	0 群馬県	0 埼玉県	0 千葉県	0 東京都	0 神奈川県
0 新潟県	0 富山県	0 石川県	0 福井県	0 山梨県	0 長野県	0 岐阜県
0 静岡県	0 愛知県	0 三重県	0 滋賀県	0 京都府	0 大阪府	0 兵庫県
0 奈良県	0 和歌山県	0 鳥取県	0 島根県	0 岡山県	0 広島県	0 山口県
0 徳島県	0 香川県	0 愛媛県	0 高知県	0 福岡県	0 佐賀県	0 長崎県
0 熊本県	0 大分県	0 宮崎県	0 鹿児島県	0 沖縄県		

問２　貴社・貴機関の業種（主な事業内容）として、最もあてはまるものをお選びください。（あてはまるもの１つ）

0 農業、林業、漁業、鉱業	0 建設業	0 電気、ガス、熱供給、水道業	0 製造業
0 通信業	0 IT 関連業	0 放送、新聞、出版業	0 運輸業、郵便業
0 金融業（銀行・信託・証券・貸金）	0 保険業	0 学術研究、専門・技術サービス	0 卸売業、小売業
0 不動産業、物品賃貸業	0 旅行業	0 宿泊業、飲食サービス業	0 教育・学習支援業
0 生活関連サービス業、娯楽業	0 医療	0 福祉	0 その他サービス業
0 国家公務	0 地方公務	0 非営利団体	0 その他

問３　貴社・貴機関の従業員・職員規模として、最もあてはまるものをお選びください。（あてはまるもの１つ）

0 20 名未満	0 20 名以上 100 名未満	0 100 名以上 300 名未満
0 300 名以上 1,000 名未満	0 1,000 名以上	

問４　アンケートご回答者の人事採用への関与度をお教えください。（あてはまるもの１つ）

0 採用の決定権があり、選考にかかわっている
0 採用の決裁権はないが、選考にかかわっている
0 採用時に直接かかわらず、情報や意見を収集、提供する立場にある

以降の質問はアンケートに同封しているリーフレットを見てからお答えください

問５　お茶の水女子大学が設置構想中の人間文化創成科学研究科 博士前期課程「共創工学専攻（仮称）」には、以下のような特色があります。魅力的だと感じるものを選んでください。（あてはまるもの全て）

0 「文化」や「社会」の知と「工学」の協働に取り組むこと

0 共創能力（発想力・発見力・デザイン力・対話力）、専門力、実践力を涵養すること

0 社会課題の解決や文化の創造を通じたイノベーションを目指していること

0 修了後の社会において役立つ実践的な科目※を重視していること

※「共創工学演習」「共創工学ワークショップ・ファシリテーション（LIDEE）」「共創インターンⅠ」「共創建築インターンⅠ、Ⅱ」「アントレプレナー・スタートアップ演習」等

問６　お茶の水女子大学が設置構想中の大学院人間文化創成科学研究科 博士前期課程「共創工学専攻（仮称）」が養成する人材についての社会ニーズについてお伺いします。（あてはまるもの１つ）

0 ニーズは極めて高い　0 ニーズはある程度高い　0 ニーズはあまり高くない

0 ニーズは高くない　0 わからない

問７　お茶の水女子大学が設置構想中の大学院人間文化創成科学研究科 博士前期課程「共創工学専攻（仮称）」が養成する人材について採用したいと思われますか。（あてはまるもの１つ）

0 採用したい　0 採用しない　0 わからない

問８　問７で「採用したい」とされた場合、現時点で採用可能と思われる人数は何人ですか。

0 1人　0 2人　0 3人

0 4人　0 5人以上　0 人数は未確定だが、最低１人

問９　お茶の水女子大学が設置構想中の大学院人間文化創成科学研究科 博士前期課程「共創工学専攻（仮称）」について期待される点、ご要望がありましたらご自由にご記入ください。

※宜しければ貴社名・貴機関名をお教えください。なお、こちらは、どの企業・機関にご返送いただいたかを把握するためのみのご質問です。アンケートの回答は統計的に処理され、特定の企業・機関が識別できる情報として公表されることはございません。（ゴム印の押印でも問題ございません）

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

お茶の水女子大学
Ochanomizu University

大学院人間文化創成科学研究科
博士前期課程

共創工学専攻（仮称）

令和８（2026）年４月に新設予定【設置構想中】

設置の背景

現代社会では持続可能性が重視されるだけでなく、生活の質の向上の充実化（Quality of Life）が求められます。その要請に応えるには多様な「知」とともに多角的な「視点」が必要であり、そのためにもジェンダーに関わらない多様な人材養成が必要となります。モノづくり、技術の創造といった工学系分野では特にこの考え方が重要ですが、日本でのジェンダーギャップは極めて大きく、この解消が喫緊の課題となっています。

設置の目的

工学系での専門的立場における女性人材のニーズが高まる中、本学では令和６（2024）年度に「文化」「社会」の知を「工学」と協働させ、安全、安心、快適な社会のための技術の構築と技術を応用した文化の創造を目指す共創工学部を立ち上げました。この理念を持ちつつ高度な技術と知識、さらに実践力を併せ持ち、リーダーシップを発揮できる専門家を育成する高等教育機関として、令和８（2026）年４月に博士前期課程「共創工学専攻（仮称）」を設置します。

養成する人材像

「文化」や「社会」の知を「工学」と協働させる共創能力を持ち、
社会ニーズに対応した技術の構築および技術を応用した文化の創造を目指す研究を展開する
高い実践力を有する人材を養成します。

ディプロマ・ポリシー（DP）

A. 共創能力〈発想力・発見力・デザイン力・対話力〉

工学とデータサイエンス、人文学・社会科学の専門領域を協働させ、
新しい技術や文化すなわちモノ・コトを工学的手法によって創造することができる能力

B. 専門力

自らの専門分野において高度な知識と技術、すなわち高度な専門知を習得し、
その分野でリーダーシップを発揮できる専門家となりうる能力

C. 実践力

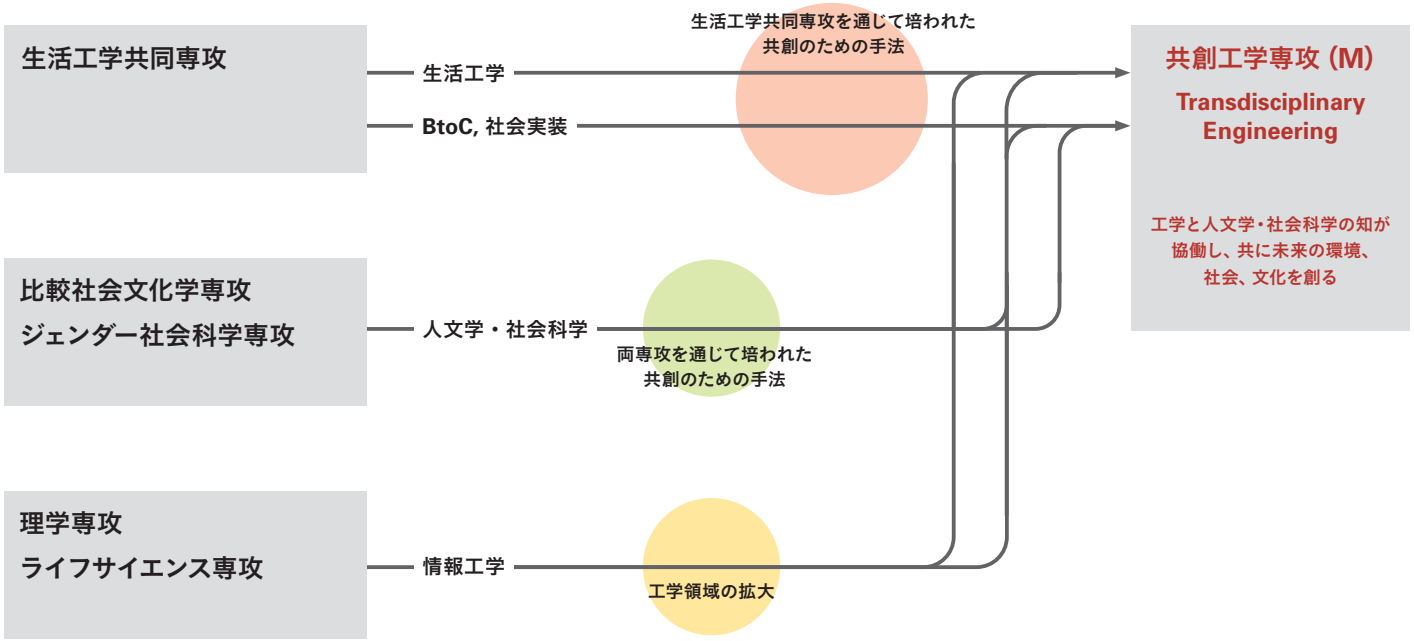
社会ニーズに対応でき、かつ習得した高度な専門知を社会実装させることができる能力

共創による工学分野の拡大

本学の大学院には「生活のための工学」の理念のもと、共創のための手法を培ってきた生活工学共同専攻がありますが、この理念と手法を継承しつつ、ここに比較社会文化学専攻とジェンダー社会科学専攻で培われてきた人文学・社会科学分野の共創のための手法を導入します。加えてデータサイエンスなどを含む情報工学分野と協働し工学領域の拡大を図ります。こうして大学院 博士前期課程「共創工学専攻（仮称）」において、共創工学の理念のもと高度な実践的教育プログラムを実施します。

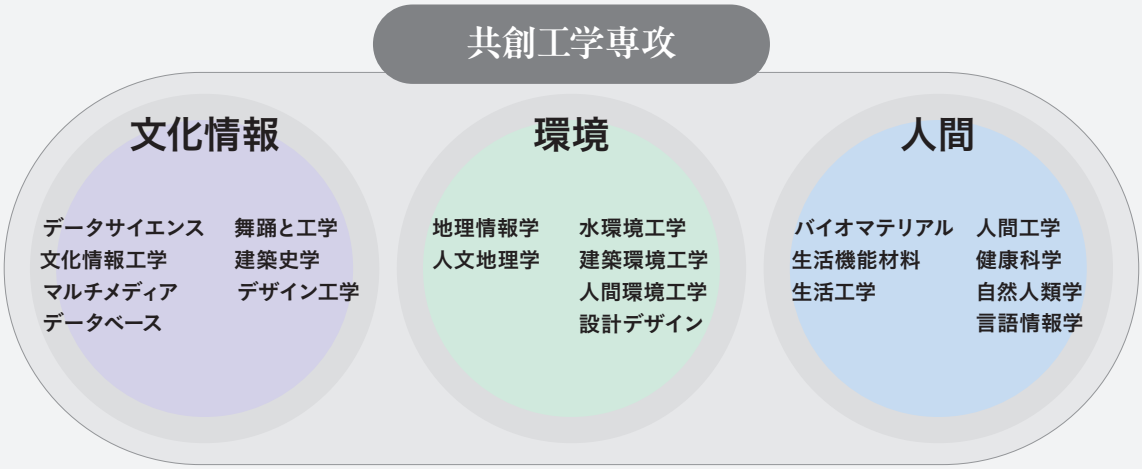
さらに令和10（2028）年度に博士後期課程の設置も視野に入れています。

大学院　人間文化創成科学研究科



身につけることのできる専門分野

3つのカテゴリー



文化情報

人文学・社会科学の専門知にデータサイエンスを協働させ、デザイン思考、文化創成を行います。

環境

持続可能な環境を実現するための技術およびシステム作りを行います。

人間

人間の健康を向上させるために、生体機能に基づいたマテリアル／デバイス開発を行います。

●……各カテゴリーにおける育成する人材像と主な進路

文化情報

人文学・社会科学の多様な資料（テキスト、地図、画像、造形、音声、映像など）をデジタル技術によって収集・加工し、データサイエンスを応用して多角的に解析できるだけでなく、工学知（デザイン思考と技術）と結びつけ、新たな文化や価値の創造や課題解決を行う人材を育成します。

〈**進路**〉情報コンサルティング業、マスメディア、文化分野・教育分野の事業にかかわるデータサイエンティストや企画職、博物館学芸員など。

環境

気候変動と災害・少子高齢化など様々な状況下における社会と人との関わりの中から新たな課題を見出し、健康や福祉の面において安全安心で快適な環境を多様な人々に対し提案する人材を育成します。

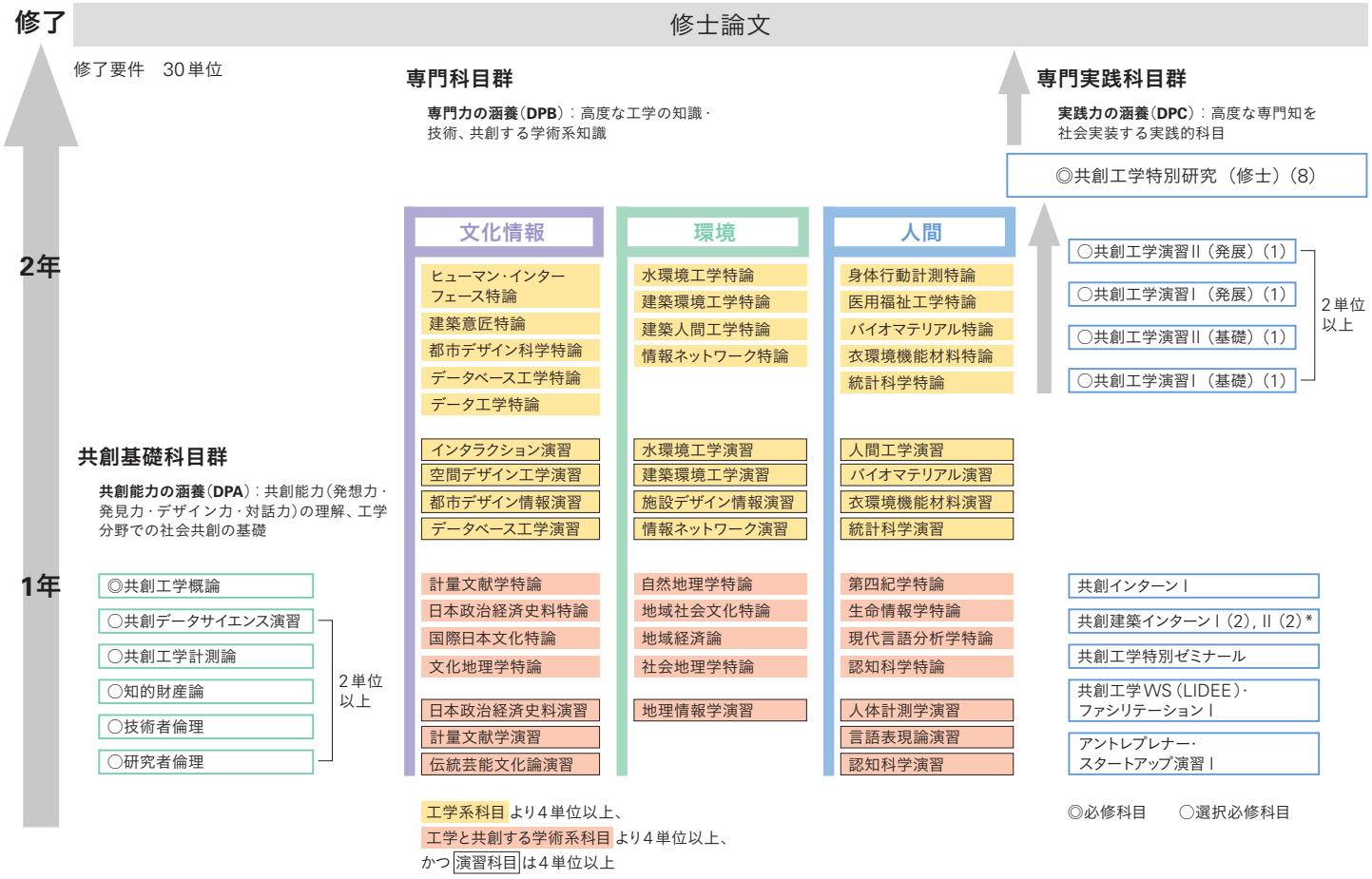
〈**進路**〉都市開発やまちづくり、地方再生の計画におけるデザイン職、建築デザイナー、行政職、一級建築士、研究職など。

人間

化学／生物系の専門知識を生かし、快適な空間を創造する材料／デバイス開発を通じて、多様な人々の生活の質を向上させるモノづくりやサービス開発を行う人材を育成します。

〈**進路**〉マテリアル系企業開発職、各種日常生活活動を支援する技術の開発、研究職、企画職など。

●……カリキュラムマップ



●……カリキュラムの特徴

「共創能力の涵養」　**共創基礎科目群**では、共創能力（発想力・発見力・デザイン力・対話力）を理解し、工学分野での社会共創の基礎を学びます。

「専門力の涵養」　**専門科目群**では、高度な知識・技術、共創する学術系知識を修得するため、工学系科目、工学と共創する学術系科目を学びます。

「実践力の涵養」　**専門実践科目群**では、工学と人文学・社会科学を高度に協働させ、社会実装する実践的研究に取り組む演習科目等により、共創工学の素養を高め、主体的・協調的な学びの態度や実践力を涵養します。

研究指導：2年間を通じて、学生は自身の研究テーマに応じたカテゴリーの主指導教員の研究指導を受けます。また他カテゴリーを含めた教員の中から副指導教員をつけることで多角的な視点での指導を受け、共創能力を養います。

●…… 各カテゴリーでのアウトカムの例

～「工学系」および「工学と共創する学術系」の共創による研究事例～

文化情報

豊かな文化に囲まれた社会のために

古典文学作品の著者推定

文学
テキストマイニング
データサイエンス

ダンス動作のデータの分析とフィードバックによるアートへの展開

ダンス・アート
身体動作解析
電気電子工学技術

江戸の歌舞伎劇場研究 浮世絵からのVRモデリング

建築史
VRモデリング

環境

持続可能な社会のために

水使用量を需要側でマネジメントするための情報伝達方法

環境工学、計測工学
情報処理
社会経済学

GISを用いた津波避難施設の最適設置計画

都市工学、建築工学
地理情報解析
地理学、認知科学

乳がん検診用ベッドの人間工学的評価によるデザイン

人間工学、建築工学
ユーザのQoL調査
デザイン科学

人間

QOL・ウェルビーイング向上のために

高齢者の転倒予防を目的としたスマートシューズの研究

人間工学、計測工学
情報工学
高齢者ユーザのQoL調査

ハイドロゲル表面／界面の科学 医療現場などで活用できるユニークな生体材料の開発

新たな治療法の開発
生体内ハイドロゲル
人工ECMと細胞の相互作用解析

日本語コミュニケーション力の改善

言語学
システムデザイン
情報処理

●…… アドミッション・ポリシー

- 共創工学の深い専門知識と高度な技術を身につけた技術者を目指している人
- 学修した工学の知識と技術を、人文学・社会科学の知識と協働させて「生きた知識」「生きた技術」にし、現実的諸課題の解決に積極的に貢献したいという意欲を持っている人
- 広い視野と倫理観を身につけて、共創工学の趣旨にもとづき、課題解決のためにさまざまな人と協働するためのリーダーシップや行動力、コミュニケーション力を発揮しようとする意欲を持っている人

●…… 入学者選抜方法

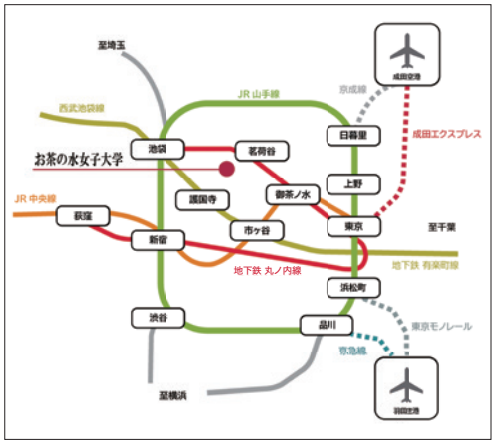
一般選抜、社会人特別選抜、外国人留学生特別選抜を実施

●…… 共創工学専攻（仮称）概要

名称	**大学院人間文化創成科学研究科博士前期課程 共創工学専攻（仮称）**
定員	12名～14名
学位	修士（共創工学）、修士（工学）、修士（学術）
修業年限	2年
入学料・授業料（予定額）	入学料　282,000円 授業料　半期分267,900円（年額535,800円） ※入学時および在学中に授業料の改訂が行われた場合は、改定時から新しい授業料が適用されます。 ※入学料・授業料の減免、奨学金などの経済的支援制度があります。

この構想は決定事項ではありません。専攻設置（2026年度）は予定であり、今後変更されることもありますので、ご注意ください。

●…… 本学へのアクセス



■ 東京メトロ丸ノ内線「茗荷谷」駅より徒歩7分
■ 東京メトロ有楽町線「護国寺」駅より徒歩8分
■ 都営バス「大塚2丁目」停留所下車徒歩1分